

令和3年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「書Ⅱ」（光村出版）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・時代、書風、新出土資料など多様な観点から精選された古典や、五つの書体の書を臨書し創作に役立たせよう。

2 学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 レポート 学習プリント	観察 レポート 学習プリント 提出作品	観察 レポート 学習プリント 提出作品	観察 レポート 学習プリント 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
一 学 期	篆書の臨書学習線の表情	<ul style="list-style-type: none"> ・書道Ⅰから書道Ⅱへ ・書の創造的で個性豊かな表現の能力と鑑賞の能力を伸ばし、書の文化や伝統を理解し、書の美に親しむ心を養う。 ・最古の書体である篆書を学習して、素直にその印象をとらえる。 ・小篆や泰山刻石について理解する。 ・用筆法を学ぶ。 ・毛公鼎・泰山刻石 ・石鼓文・甲骨文 	○	○		○	a:篆書の美とその表現方法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく b:基本的な用筆方法を理解し表現を工夫していく c:創造的な書表現をするために書の効果的な表現の技能を身につけ表していく d:文字や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え書のよさや美しさを創造的に味わっていく	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・学習プリント ・取組状況観察 ・提出作品

一学期	隷書の臨書学習	<ul style="list-style-type: none"> ・隷書の基本を学習し、その用筆法、運筆法、字形の構成法の技術を高める。 ・乙瑛碑 ・居延新簡 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a: 隷書の美とその表現方法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく b: 基本的な用筆方法を理解し表現を工夫していく c: 創造的な書表現をするために書の効果的な表現の技能を身につけて表していく d: 文字や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え書のよさや美しさを創造的に味わっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・提出作品
	篆書・隷書の創作	<ul style="list-style-type: none"> ・短文を半切3分の1の大きさで篆書か隷書体で制作する。優秀作品を芸文祭に出展する。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a: 創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組んでいく b: 書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫していく c: 創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけて表していく d: 文字や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え書のよさや美しさを創造的に味わっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・学習プリント ・提出作品
	硬筆の宿題 展示会の鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ・整齊の文字構成を覚える ・いろいろな書の表現方法や形式・表現効果を探り、書の鑑賞能力を高めながら、書を楽しむ心情を育てる。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a: 基礎的な能力を身につけ、その向上に努め、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組んでいく b: 書写で身につけた基礎的な能力を生かして表現を工夫していく c: 書写で身につけた基礎的な技能を生かして表現していく d: 日常生活の硬筆の書の効用について理解し、そのよさを味わっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出作品 ・鑑賞レポート
二学期	草書の臨書学習・行書の臨書学習	<ul style="list-style-type: none"> ・中国と日本の草書の代表的な古典の臨書と鑑賞を通して、草書の用筆法や運筆法、造形の特徴を学び、表現の多様性と美しさを理解する。 ・十七帖・書譜・離洛帖 ・個性豊かな表現方法を学び、技術の向上を図る。 ・黄州寒食詩巻 ・黄州寒食詩巻跋 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> a: 篆書の美とその表現方法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく b: 基本的な用筆方法を理解し表現を工夫していく c: 創造的な書表現をするために書の効果的な表現の技能を身につけて表していく d: 文字や書の伝統と文化について幅広く理解しその価値を考え書のよさや美しさを創造的に味わっていく 	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・学習プリント ・提出作品

	篆刻	<ul style="list-style-type: none"> ・姓名印を作る。 ・文字を素材とし、その文字をうまく処理して印面におさめ、刀が筆のようにさまざまな線質を生み出すのを理解する。 ・美的な鑑賞に耐えうる書の一分野として認識する。 	○		○	○	a: 名前の各書体調べを通して書体の変遷について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく b: 篆刻における分間布白を理解し、表現を工夫していく c: 印稿づくりにおいて小筆の弾力を生かし硬筆筆にも応用できる技法を身につけていく d: 様々な印の印影を鑑賞し、そのよさや美しさを味わっていく	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・学習プリント ・提出作品
三学期	かなの臨書学習	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかな字形で、格調が高く、潤渾の美しい高野切、変化に富み、躍動感に満ちた関戸本、散らし書きの素材として最適な三色紙。それぞれの風趣を味わいながら、臨書する。 ・高野切か関戸本を短冊に仕上げる。 ・高野切か関戸本を集字して、自作の俳句を制作する。 ・高野切第1種 ・関戸本古今集 ・三色紙 	○		○		a: 仮名の美（連綿・散らし書き等）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組んでいく b: 基本的な表現方法を理解し自らの意図に基づいて工夫していく c: 基礎的、基本的な連綿や散らし書きの技法を身につけていく d: 古典を理解し、暮らしの中に書を生かすことによってそのよさや美しさを味わっていく	<ul style="list-style-type: none"> ・取組状況観察 ・学習プリント ・提出作品

※ 表中の観点について a: 書への関心・意欲・態度 b: 書表現の構想と工夫
c: 創造的な書表現の技能 d: 鑑賞の能力

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。